

よくある親子の会話

つい先日、池袋のカフェで知人と待ち合わせしていたところ、たまたま隣り合わせになった親子の会話です。聞いてはいけないと思いつつ、つついダンボになってしまいました。みなさんも、親との会話を思い出しながら、あるいは、自分の子どもとの会話を思い出しながら、読んでみてください。(会話の後にコメントしてみました)

お母さんは、休日ということもあり娘さんのお買い物に付き合っていたのか、娘さんは少し遅れ、紙袋をかかえて足早にお店に入ってきました。

母「宿題やったの？」

お母さんはすでに、怒った口調です。たぶん、「やってないだろう」という予想があるのでしょう。お母さんも気持ちも分かるのですが…。この言い方では伝わるでしょうか？

子「…。まだ。何で？」

「怒り」には「怒り」で対抗という感じでしょうか？

母「何でまだやってないの？今日出かけることわかっていたでしょ？明日までの提出なのに今終わってなくて間に合うの？」

ここぞとばかりに、娘さんを責めています。尋問にちかいですよね？娘さんが今となってはどうすることも出来ないことを言われても。

子「……………」

まったく返答できません。だって、お母さんが「正しい」ですものね。

母「前も、結局やらないで、落第点とったじゃない。中学生だって、進級できこともありますよ。ママは知らないですからね！」

「そういわれても～、ねえ」これは「脅し」にちかいでないですね。「○○しないと」こんな恐ろしいことがおきますよ。とっているようなものです。さらに、追い討ちであなただけの「味方」にはなりませんよとっています。

子「うざいんだよ。なんか悪い？あなたには迷惑かけませんから」

やっぱり自分はだめな人間とおもうだけです。そのことが、わかっていないようです。お母さんの気持ちは、宿題をやっていない娘を心配している気持ちが大きいのではないかと思うのですが、伝わっていませんね。出来ていない自分は「悪い」とさらに、自分のぶがいなさを上塗りしたかんじでしょうか？

母「そういうこと言っているんじゃないのよ」

子「自分のやりたいようにやるから、ほっといて」

あまりの厳しい責めにもうだめ～。きれたわけです。娘だって、馬鹿にされれば、頭にきますし、失礼なことを言われれば、怒って当然です。この会話で、こういわせているのはお母さんです。こうなるのが当然ですよ。うんざりと同時に、子どもは自分を正に理解してもらえない気持ちでいっぱいです。

・・・まあ、こんな具合です。

特に親子関係では、コミュニケーションとは、お互いを理解しあい関係を深める、素晴らしい手段です。この親子の会話により、お互いを理解しあえたでしょうか？

コミュニケーションとは聴くことから

カウンセリングマインドで最も大切にしているのは、「傾聴」です。心も身体も相手に傾けて聴くという意味合いがあります。それだけ、「聴く」ことの大切さをいっているので相手の会話を聴くことができれば、それだけで、相手に何が起きているのか知れるだけでなく、相手にもわかっていなかった「気持ち」に気づいてあげることができるのです。これは、親子の会話だけではなく、恋人同士、夫婦、会社の上司、同僚、友人…、人間関係全般にいえることです。お母さんの接し方で、より親子関係が深まるだけでなく、より子どもは輝き成長するチャンスなのです。先ほどの親子の会話でいうなら、お互い言葉にはなっていないのですが、子どもの自分に自信を失いかけている気持ち、一方で、お母さんの子どもを心配し何とか力になりたい気持ちが伝わってきますが、それは伝わっていませんね。

まずは、気持ちを分かってあげることから

「気持ちをわかってあげるだけで」いいのです。人は自分がやらなければならないことについては、よくわかっています。最終的に、それをやるのは本人だけだとしたら、責めたり、嫌味をいったり、怒りをぶつけることで、正しさをいうことで、はたしてやるようになるでしょうか？いいえ、それはありえない。むしろ、落ち込み、自分はやっぱりだめな人間だと思っただけです。子どもはいかに自分がだめなのかより、自分がどれくらいやれるのか、どれくらい大丈夫なのかを、サポートして欲しいのです。先ほどの、お母さんの問いかけにも、もう少し、気持ちを受容し、子どもにサポートするような会話、例えば、宿題をやっていないとわかって、責めずに「じゃあ、まだ時間があるものね。家へ帰りましょう。ママは何かおいしいものつくるわ」とか、こんなに素敵なことはいえなくても、「そうね。じゃあ、まだ時間があるから、家へ帰ろう」子どものやる気を引き出す言葉は、その子の気持ちを分かってあげることなのです。そんな親子のコミュニケーションは子どもを伸ばすだけでなく、子どもは自分に自信と誇りをもたせ、その子らしく輝くことも応援することになるのです。そんな親子のコミュニケーションは子どもを伸ばすだけでなく、子どもは自分に自信と誇りをもたせ、その子らしく輝くことも応援することになるのです。

きらきら会の子どもを伸ばすために、お母さんが学ぶ「コミュニケーション講座」を開催しています。是非、いらしてくださいね